

「情報公開文書」

研究課題名：神経難病患者支援に関与するリハビリテーション職種の地域連携に関する実態調査

倫理審査担当：千葉倫理審査委員会

承認日：西暦 2025 年 2 月 25 日 **承認番号：**24-CI-011

1. 研究の対象

研究期間 2020 年 8 月 1 日～2025 年 1 月 31 日に当院神経難病センターに入院された方

2. 研究目的・方法

研究背景：神経難病リハビリテーションにおいて、患者様の生活の質を向上させるために病院と地域社会との密接な連携が不可欠と考えます。地域との連携が強化されることで、患者様は医療機関外でも継続的な支援を受けることが可能となり、医療、介護、福祉が一体となった支援体制が構築されております。本研究では、市川病院脳神経内科に入院した患者様に対する入退院時の地域連携に関する取り組みを系統的に調査し、その実態を明らかにすることを目的とします。また、長期に在宅療養継続が可能な患者様と在宅療養が中断された患者様では、連携の頻度や方法に差があるのかを検討し、連携が在宅継続に与える影響を明らかにすることも目的としました。

方法：後方視的研究を用いて、在宅生活継続とリハビリテーションの連携についての関連を調べます。

研究期間：2025 年 2 月 25 日から 2028 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：基本属性（氏名、生年月日、性別、年齢、診断名、身長、体重、BMI、発症年齢、発症月日、罹病期間、診断基準（MSA：Gilman 分類、ALS：改定 El-Escorial 基準）等）リハビリテーション介入内容として（呼吸リハ、コミュニケーション支援、嚥下評価・訓練、日常生活動作評価・訓練、車椅子離床、等）、入院時支援内容として、訪問リハビリテーションサマリーの有無、インフォーマルでの情報交換実施の有無、退院時支援の内容として退院時訪問指導実施の有無、退院前カンファレンス開催の有無、退院前カンファレンスの参加職種、退院前カンファレンスの実施時間、退院前カンファレンスの実施回数、退院時リハビリテーションサマリー作成の有無、退院時リハビリテーションサマリーの添付資料の有無と媒体（画像、動画の有無）インフォーマルでの情報交換実施の有無、病院からの専用機器貸し出しの有無

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

本研究に関するお問い合わせ（本研究への協力に同意されない場合を含む）連絡先：

住所 千葉県市川市国府台 6-1-14 国際医療福祉大学市川病院

電話 047 - 375 - 1111

国際医療福祉大学市川病院 作業療法士 大寺亜由美 （研究責任者）

-----以上